

令和8年8月号



春日部セントノア病院

〒344-0001
埼玉県春日部市不動院野1112-1
TEL048-760-1200
FAX048-760-1201
<https://www.saintnoah-kasukabe.jp>

8月



～目次～

- 病院短信 宮崎 享
- 日常の一コマ 勝田 梨恵
- いきいき看護・介護 加藤 千亜希
- 医事課だより 森川 雅子
- 誕生会（おやつバイキング） デイルームにて
- スタッフ紹介 益田 みづほ

8月の予定

◇誕生日会

1病棟	8月 4日（火）
2病棟	8月 3日（月）
3病棟	8月 7日（金）
各病棟デイルーム 14:00～	



当院栄養科
手づくり！

おやつ
バイキング



7月の誕生会はおやつバイキング！栄養科自慢の手作りスイーツをよりどりみどり、お好きなものをお取りいただきました。午後の優雅なティータイムをお楽しみいただけましたか？



スタッフ紹介

薬剤師
ますだ
益田 みづほ

行きたい場所：娘と一緒に世界遺産を巡りたい



気が付けば入職から6ヵ月がすぎ、その早さに自分でも驚いています。ここ数年は仕事と子育てに追われる毎日ですが、最近は月1冊のペースでの読書が息抜きになっています。今年は子どもたちの高校・大学ダブル受験を控えており少し慌ただしいですが、無事に乗り切ったら大好きな旅行やハンドメイドを本格的に再開したいと今から楽しみにしています。これからも、目の前の仕事と家族のサポートを、全力でがんばりたいと思います。

病院短信

『看護覚え書』再読

医師 宮崎 享

現在放送中のNHK朝ドラ『風、薫る』をご覧の方もいらっしゃると思います。主人公は明治期にトレインドナース(正規の訓練を受けた看護師)として日本における看護師の地位向上に貢献した「大関ちか」がモデルです。ドラマの中で主人公たちがナイチンゲール(1820-1910)の著書『Notes on Nursing: What It Is and What It Is Not』(1860年)(看護覚え書：看護であること、看護でないこと)を苦勞して訳しながら学んでいく様子が描かれていました。今回私も本書をあらためて読んでみて、現代にあっても示唆に富む内容が多くその先見性に驚かされました。ナイチンゲールは看護を「新鮮な空気、陽光、暖かさ、清潔さ、静けさなどを適切に整え、これらを活かして用いること、また食事を適切に選択し与えることーこういうしたことすべてを、患者の生命力の消耗を最小にするように整えること」と定義し、その消耗させている原因が何であるのか、見いだすための「観察力」が看護師には求められると説いています。

環境調整のなかで最も重要とされたのは「患者が呼吸する空気を屋外の空気と同じ清浄さに保つこと」すなわち「換気」です。換気的重要性は今般の新型コロナウイルス感染症の世界的流行であらためて認識されましたね。私も昔は、朝の回診時に「ナイチンゲール看護の基本、窓を開けましょう」と言いながら病室のカーテンや窓を開けてまわりましたが、最近ほどの病院でも事故防止の観点から窓は開いてもわずかで機械空調に頼らざるを得ません。それでも当院では患者さんが過ごすデイルームの高窓が開き、しっかりと外気を取り入れる換気ができています。そして次に「陽光」、この点では当院の病室やデ

イルームには大きな窓からたつぷりの日の光がそそぎます。日が入りすぎてレースカーテンを閉めるくらいです。また、認知症の患者さんはご自身の症状をうまく伝えられない方も多く、より一層の観察力が必要です。「いつもと様子が違う」と感じることから病状変化を読み取る看護師をはじめ医療スタッフの皆さんの sensitivity(感度) にはいつも感心しています。

そして本書の冒頭にはこう書かれています。「女性の誰もが一生のうち何回かは、子供とか病人とか、誰かの健康上の責任を負うことになる。すなわち女性には誰もが看護婦なのである。」現代ではさしずめ「すべてのひとは誰もが看護師」ということですね。『看護覚え書』は看護師や医療従事者だけでなくすべての人の必読書と言えるでしょう。



日常の一コマ

今月は2病棟の玲子さん(89歳)の一コマをご紹介します。玲子さんは新潟県生まれの5人兄弟の第2子として農家を営む両親のもとに出生されました。

22歳で結婚され2人のお子さんにも恵まれ、嫁ぎ先では米や野菜を作る農家仕事のほかに、ミシン縫製の内職をされていた。

11年前、ご主人が亡くなってからは1人暮らしをし、長男さん夫婦のサポートを受けながら独居生活をしていましたが、令和5年頃より円背がひどく、畑仕事をやめるよう指導されてから徐々に物忘れが出現。不眠、感情の起伏もだんだん強くなり、財布やリモコンが見つからなかったり、リモコンの使い方が分からなくなったり、不眠症状がある

ため精神科受診し、アルツハイマー型認知症と診断されました。受診後も不眠が続き、不安感もみられ、家族対応困難にて精神科入院となりました。入院中、日中は穏やかに過ごし、18時以降になるとせん妄・多動・不穏があったそうです。車イス上で立ち上がろうとして車イスごと転倒される事もあり、車イスのセーフティベルトを使用していました。夜間は体幹拘束し入眠していたそうです。そして令和7年9月、当院へ転院となりました。

当院は拘束行為を一切しないため、入院当初はベッド上にて危険行為があるためナースステーション近くで見守りを強化。突然顔つきも変わり、怒り出す事や介護抵抗、車イスから立ち上がる事も頻回にありました。声をかけると「もう帰るからいいよ!!」と怒り、「もう死ぬからいいよ!!」と悲観的。近寄ると手で払い除ける行為もみられました。



何度も何度も少しづつ近づき声かけをし、顔と名前を覚えてもらう事に成功した私は調子に乗ってしまい、「これ誰?」と聞くと「誰だっけなあ?」と、「えっ? 忘れたの?」「からかっただけだよ、かっちゃんでしょ?」、「忘れたのかと思ったよ」と言う。「忘れないよ! 友達だもん!」と(笑)。夜勤明けの朝、眠そうな私の姿を見た玲子さん。「ここで休んでいきなよ」と。「まだ仕事中だから」と言う、「いいから!!」と小さい体で大きな私の体を隠し、頭をポンポンしてくれる玲子さん。本当に優しく、温かい人。笑顔の素敵な玲子さん。これからも毎日楽しく穏やかに過ごせるよう協力させていただきます。これからも宜しくお願いします。

2病棟看護師 勝田 梨恵

医事課 だより

医事課主任 森川 雅子

この季節、あんずと桃が大好きな私にはうれしい季節です。あんずの季節は短いのが残念ですが、邪道と思いながら冷凍して少し長めに楽しんでいます♪桃は品種が色々あって長い期間食べられるので楽しみながらいっぱい食べようと思います♪今年は梅雨が明けたらすでに酷暑を予感させる暑さが続いています。光熱費の心配もありますが、エアコンを使わずにはいられません。エアコン使用、睡眠・水分・食事をきちんと摂って熱中症には気を付けましょう。

7月いっぱい資格確認証等の有効期限が切れています。それぞれの保険者から新しい資格確認証が届きましたら、病院へご提示、又は、ご郵送をお願いいたします。マイナンバーカードのみの方はこちらで確認しますので、病院でご提示をお願いします。また、住所が変わった方、75歳の誕生日を迎えた方、限度額認定証の適応になった方、区分が変わった方がいらっしゃったら、必ずその月のうちに資格確認証をご提示をお願いします。遅れると請求の金額が変わり、返金や追加の金額を頂くことになってしまいますので、よろしくをお願いします。分からないことがあればどんなことでも遠慮なく、病院(医事課)までお電話・お声かけください。お待ちしております。

いきいき看護・介護

3病棟介護福祉士 加藤 千亜希

みなさんは、自分の握力を知っていますか。

握力は、物をつかむだけでなく、健康状態を知るための大切な指標の一つと言われています。近年では、握力が強い人ほど体力が維持されやすく、日常生活を元気に過ごせる可能性が高いことが分かっています。

握力を保つためには、適度な運動やバランスの良い食事の他、グーパー運動やハンドグリップなどを使った運動も効果的です。

私は、握力は年齢に関係なく健康を守るための大切な力だと思っています。

これからも自分の握力を意識しながら、健康な体づくりを続けていきたいです。

